

標準化会議の事業報告

1. 概要

平成 20 年度は、平成 16 年 11 月に設立した ISO/TC227 ばねの国際規格化活動を強力に推進し、2 規格を来年度には発行できる見通しが得られた。この決議は 11 月に出席したタイ・バンコク市で開催された第 4 回 ISO/TC227 ばね国際会議にて行われた。またアジア太平洋地域標準化現地研修を 10 月にベトナム・ハノイ市で実施しアジア地域での仲間作りをさらに進めた。一方国内規格においては JIS 4 規格の制定及び改正、JASO 1 規格の改正及び JSMA 規格の制定及び改正に取り組んだ。

2. 標準化会議の開催

会 議	名 称、日 時	主 な 議 案
第 1 回 標準化会議	平成 20 年 6 月 5 日 航空会館	(1) ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 (2) 各規格開発 (JIS、JASO、JSMA) 活動内容審議 (3) アジア太平洋国際標準化研修内容審議
第 2 回 標準化会議	平成 20 年 10 月 6 日 機械振興会館	(1) ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 (2) 国内各規格開発 (JIS、JASO 及び JSMA) 活動内容審議
第 3 回 標準化会議	平成 21 年 2 月 19 日 機械振興会館	(1) ISO/TC227 ばね活動報告及び審議 (2) 国内各規格開発活動内容審議 (3) 今年度活動報告と来年度活動計画審議

3. 活動の詳細

3.1 ISO 規格関係

(1) 政府制度の活用

下記の 3 政府制度を活用し、経済産業省、財団法人日本規格協会、株式会社三菱総合研究所の支援を頂きながら国際標準化活動を実施した。

1) 重点 TC 等国際会議派遣事業

第 4 回 ISO/TC227 ばね国際会議に相羽国際幹事、山崎国内委員長他 7 名が出席した。11 月 6 日、7 日の 2 日間開催され 1 日目は各プロジェクトチーム会議、2 日目は本会議が行われた。

2) 国際規格共同開発調査

国際会議では「ばね用語」及び「ショットピーニング Part1」は IS 発行段階に進めることを決議した (実際の発行は平成 21 年 4 月以降の見込み)。「熱間成形圧縮コイルばね」は CD 段階への移行を決議した。日本提案の「ばね記号」の規格開発を新たに 4 年計画で進めることを決議した。

3) アジア国際標準化研修

10月22日から3日間ベトナムハノイ市でVSQC(ベトナム標準品質センタ)と共催で研修を実施。研修生50名が参加し日本側からは相羽議長他6名が講師、スタッフとして参加。座学、工場見学などを実施し国際標準化啓蒙活動を促進。なおこの研修にはフィリピン、タイ、インドネシアの標準化関係者も講師として参加し自国の標準化の状況を報告した。

(2) ISO/TC227 ばねの国際規格化推進をはじめとする国際標準化活動

- 1) 4月2日に、デュセルドルフで開催された第6回国際ばね会議に6名が参加しISO/TC227ばね規格開発状況報告及び標準化関連の情報交換などを実施した。
- 2) 10月22日~24日に、ベトナムハノイ市の日航ハノイホテルでばね国際標準化研修を実施した。
- 3) 11月6日~7日に、タイバンコク市のシャングリラホテルで開催された第4回ISO/TC227ばね国際会議に参加した。
- 4) 12月18日に、中国杭州市のラマダプラザホテルで開催された日中「熱間成形圧縮コイルばね」規格開発技術交流会に3名が参加。中国作成のCD案を基に意見交換を実施した。

3.2 JIS 規格関係

JIS B2704「圧縮及び引張コイルばね - 設計・性能試験方法」の改正が終了した。3部制に変更し来年度発行予定。またJIS B2709「ねじりコイルばね - 設計・性能試験方法」の改正も終了した。2部制に変更して来年度発行予定。JIS B2713「薄板ばねの設計計算式及び仕様の定め方」は平成21年3月制定になった。JIS B2804「止め輪」の改正作業に12月から着手し、原案作成終了は平成21年6月を予定。

3.3 JASO 規格関係

JASO F107:「自動車部品 ばね板ナット」の改正が完了した。来年度に発行予定。

3.4 JSMA 規格関係

各部会の年度計画に基づいて、JSMA規格の制定及び改正などを実施した。熱間成形ばね部会では6規格を改正した。冷間成形ばね(線関係)部会では1規格を改正。機能規格部会では2規格を改正し新たに2規格の制定原案を作成した。何れも発行は来年度前半になる見込み。